

【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果
要綱の改正等も含め、制度の見直しを検討する。	内部での検討をしたが、見直しには至らなかった。

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか 町が主体となって実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない	建築基準法では、緊急災害時の道路確保のために行う事業で幅員4m確保する必要があり、町民の生活基盤の向上等を図る事業なので、必要な事務事業である。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度かどうか(成果指標の状況)	<input type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> 成果は十分とはいえない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	19年度の後退面積は299.84㎡であったが、制度の見直しによってさらに狭あい道路の解消を進める必要がある。
効率性	事業費に無駄はないか	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 適切だが改善の余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない	後退用地を有償譲渡で取得した場合の土地購入費や物件補償費がかかるので、無償譲渡(寄附)による取得を増やしたい。

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	建築確認に伴う申請による事業なので、狭あい道路の解消に時間を要する。	制度の見直しの為の調査。	制度の見直しを検討する
効率性	将来的に不安定な無償使用を減らし、無償譲渡(寄附)を増やしたい。	要綱に基づいて実施しているので、近隣の実施状況等調査する。	要綱の見直しを検討する。

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	狭あい道路の解消を進める為、要綱改正によるものも含めた処理件数の増加を目標とする。
成果指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	狭あい道路の拡幅整備が目的なので、実際に道路後退した面積を目標とする。
事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	生活基盤の向上、緊急災害時における道路幅員の確保等一定の事業効果を上げているが、課題を整理する為、他市町の状況等も参考にしながら制度の見直しを進める。

部長確認	小島博司	確認日	2008/10/15
------	------	-----	------------